

## 1 はじめに

本校は、小規模校のよさを活かした異学年交流活動の可能性の探究と自治的活動の活性化に向けて取り組んでいる。少人数だからこそ成し得る「一人一人が Only One の存在として輝く」という本校の教育目標の具現化を目指している。

## 2 資料

### (1) キャンペーン活動の実施

委員会では、生徒が主体となって、困っていることや改善したいことを話し合い、活動を決めている。今年度は、「消しゴムのカスを捨てようキャンペーン」と「くつをきれいに並べようキャンペーン」を実施した。

内容だけでなく、期間やチェック方法など細かく話し合い、一番良かったクラスには、賞状が贈られた。



### (2) 体育祭

去年までは体育館で実施していたが、今年度はグラウンドで実施した。今年度が平沢中学校としての最後の体育祭ということで、多くの競技に、生徒だけではなく、保護者も参加できる内容とした。どの種目にも生徒全員が参加する内容になっており、少ない人数ながら、準備なども生徒が行うため、忙しい中ではあったが、役割をしっかりとこなす姿が見られた。



### (3) 桐葉祭 (文化祭)

今年の桐葉祭では、「部活動対抗ゲーム」として「10問クイズ」と「ジェスチャーゲーム」を実施した。実行委員が主体となって司会、準備などの役割から桐葉祭の内容の決定まで行った。生徒の自主的な発表「平沢スター誕生」では、多くの生徒が参加し、練習を重ねてきたダンスを披露した。



## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ・生徒主体で行事に取り組むことができた。
- ・生徒一人一人が役割をもつことができた。
- ・生徒が主体的に活動することで生徒の自己有用感が高まった。

### (2) 課題

- ・生徒や教職員の人数が少ないため、大規模な催しが困難であった。
- ・生徒数が少ないため行事等において生徒一人一人の負担が大きくなっている。